

平成 29 年シラス漁(後半)の漁況予測について

予測 : 平成 29 年 6 月～平成 30 年 1 月の水揚量は **3,500 トン**

これまでの漁況経過

- ・ 3 月下旬の解禁直後は低調でしたが、4 月下旬以降に好漁となりました。
- ・ 主要 6 港(用宗・吉田・御前崎・福田・舞阪・新居)の平成 29 年 3～5 月の累積水揚量は、昭和 60 年以降で 8 番目に高い **3,500 トン**に達しました。

予測の説明

- ・ 静岡県では、3～5 月の累積水揚量と好漁の時期で「獲れ方」を 4 つに分類しています。

- ①春好調 A : 3～5 月の累積水揚量が 2,000 トン以上で、漁期始めから好漁
- ②春好調 B : 3～5 月の累積水揚量が 2,000 トン以上で、5 月下旬に向けて徐々に増加
- ③春不漁 : 3～5 月の累積水揚量が 2,000 トン未満
- ④黒潮大蛇行 : 黒潮大蛇行が発生した場合

- ・ 昨年までの 3～5 月の累積水揚量と、漁期全体(3 月～翌年 1 月)の水揚量の関係を図 1 に示しました。
- ・ 今年の 3～5 月の累積水揚量は 3,500 トンで、「②春好調 B」と分類されました。
- ・ よって、図 1 より漁期全体の水揚量を 7,000 トンと予測しました。
- ・ 今後(6 月～翌年 1 月)の水揚量は、7,000 トンから 3,500 トン(3～5 月の累積水揚量)を差し引き 3,500 トンと予測しました。

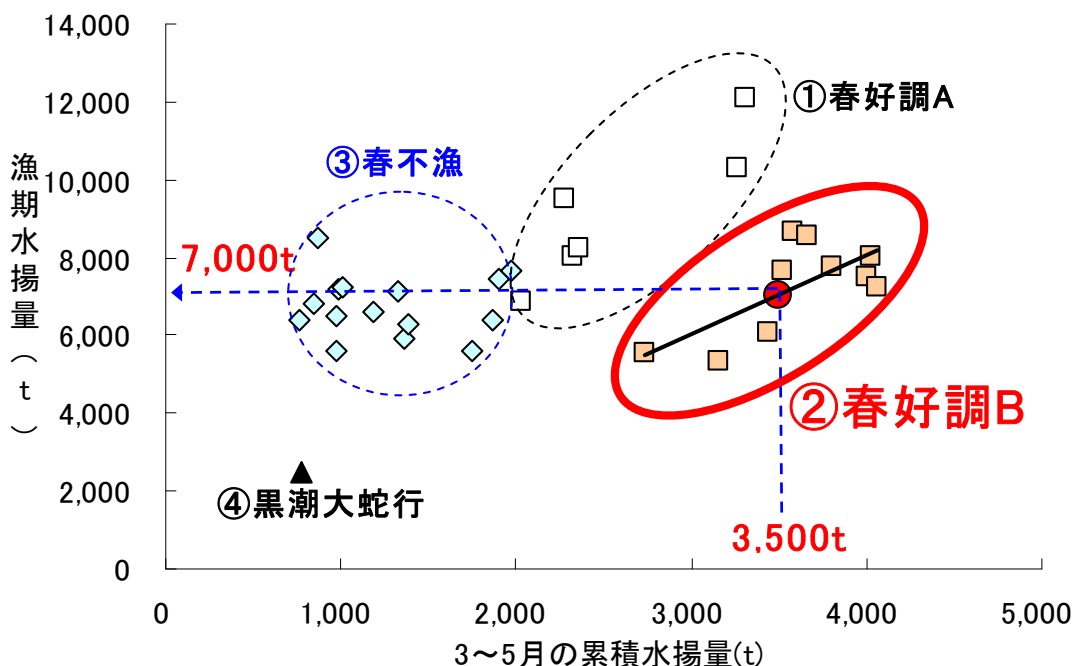


図 1 3～5 月の累積水揚量と漁期水揚量の関係